

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

平成 28 年度

事業報告書及び決算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日



EXPO'90  
FOUNDATION

## 目次

### 事業報告書

はじめに	9
------	---

#### I. 事業

1. 顕彰事業	9
(1) コスモス国際賞	
(2) BIE コスモス賞	
(3) 全国花のまちづくりコンクール事業	
2. 助成・協働事業	11
(1) 調査研究、行催事等助成事業	
(2) 花とみどりの復興活動支援助成事業	
(3) 地域協働事業	
3. 普及啓発事業及び国際交流事業	16
(1) 次世代育成事業	
(2) 花育推進事業	
(3) 都市緑化推進運動等への協力事業	
(4) 普及啓発事業	
(5) 国際交流事業	
4. 調査研究・資料収集事業	22
(1) 生物多様性等に関する調査	
(2) 里山等の共生に関する調査	

#### II. 庶務・管理

1. 理事会・評議員会等	25
2. 内閣府届出及び情報公開	26
3. その他	26

### 決算書

#### III. 財務諸表

1. 貸借対照表	29
2. 損益計算書（正味財産増減計算書）	31
3. 附属明細書	41
4. 財産目録	42

IV. 監査報告書	47
-----------	----

平成 28 年度

# I. 事 業

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

## はじめに

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会（以下「協会」という。）は、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の「自然と人間との共生」という理念を継承し発展させることを目的に、花の万博記念基金を活用し、年次事業計画書に沿って各種事業を行っている。

平成 28 年度は、世界の政治、経済状況の変化が大きく為替変動の影響を受け、予算を下回る収入となったものの、公益法人移行 4 年目として、協会の中心的事業である「コスモス国際賞」等の継続した事業を行うとともに、当協会設立 25 年の節目を迎えたことを踏まえ、中長期計画の策定に着手する他、助成・協働事業、普及啓発・国際交流事業、調査研究・資料収集事業を滞りなく行った。

## I. 事業

### 1. 顕彰事業

#### (1) コスモス国際賞

花の万博の理念を継承し、さらに発展させるため、この理念に沿った国内外の優れた研究活動や業績を顕彰する「コスモス国際賞」（以下「コスモス賞」という。）の 2016 年（第 24 回）受賞者の選考及び授賞式等を次のとおり実施した。

また、2017 年（第 25 回）の受賞候補者の推薦を国内外の推薦人に依頼するため、推薦状を発送した。

#### ア. 受賞者の選考等

コスモス賞委員会（以下「賞委員会」という。）及びコスモス賞選考専門委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、次の選考作業を行った。

##### (ア) 2016 年（第 24 回）受賞者の選考等

- ・平成 28 年 5 月 14 日及び 24 日に第 1 回、第 2 回選考委員会が開催され、2016 年受賞者選考対象 133 件の推薦に基づき、慎重な選考作業が実施された。
- ・平成 28 年 6 月 22 日に第 3 回選考委員会及び第 2 回賞委員会が開催され、2016 年受賞候補者に岩槻邦男博士（東京大学名誉教授）が選定された。
- ・選考の経緯及び結果は、平成 28 年 7 月 20 日開催の第 90 回理事会に推挙され、受賞者として決定した。また、同日午後、国内外の報道機関に対して記者発表を実施した。

##### (イ) 2017 年（第 25 回）受賞者の選考準備等

- ・平成 29 年 1 月 11 日に第 1 回賞委員会が開催され、2017 年（第 25 回）受賞者の

受賞者選考に対して選考方針及び今後の日程等について審議された。

- ・国内外約 1,000 名の推薦人に対し、受賞候補者の推薦依頼を行った。

イ. 2016 年（第 24 回）コスモス賞授賞式及び晩餐会の開催

国内外からの賓客及び招待者約 420 名の参列のもと、授賞式を開催するとともに、岩槻博士を囲み、賞委員会・協会関係者による晩餐会を行った。

(ア) 授賞式

日 時：平成 28 年 11 月 8 日（火）午後 3 時～5 時

場 所：いずみホール（大阪市中央区）

出席者：約 420 名

(イ) 受賞記念晩餐会

日 時：平成 28 年 11 月 8 日（火）午後 5 時 30 分～7 時

場 所：ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）

出席者：24 名

ウ. コスモス国際賞受賞記念講演会

2016 年受賞者岩槻邦男博士による講演会を平成 28 年 11 月 14 日（月）に大阪市中央区の大丸心齋橋劇場で、11 月 21 日（月）に東京大学安田講堂で開催した。

（詳細別表 1 のとおり）

（別表 1）

		大阪	東京
日	時	平成 28 年 11 月 14 日（月） 午後 4 時～6 時	平成 28 年 11 月 21 日（月） 午後 4 時～6 時
場	所	大丸心齋橋劇場 （大阪市中央区心齋橋筋 1-7-1）	東京大学 安田講堂 （東京都文京区本郷 7-3-1）
講演	テーマ	「生物多様性を生きる」	
	講師	2016 年コスモス国際賞受賞者 岩槻 邦男 博士 （東京大学名誉教授、兵庫県立人と自然の博物館名誉館長）	
次第等	講師等	受賞者紹介 今福 道夫 氏 （京都大学名誉教授・コスモス国際賞選考専門委員会副委員長）	受賞者紹介 武内 和彦 氏 （東京大学大学院教授・コスモス国際賞選考専門委員会委員長）

	対談 岩槻 邦男 博士 井田 徹治 氏 (共同通信社編集委員・論説委員)	トークセッション 岩槻 邦男 博士 国谷 裕子 氏 (キャスター、コスモス国際賞選考専門委員会委員) デディ・ダルナエディ氏 (インドネシア科学院生物学研究センター教授)
参加者	約 200 名	約 800 名
共催	—	東京都教育委員会
後援	農林水産省、国土交通省、文部科学省、環境省、大阪府 (大阪開催)、大阪市 (大阪開催)	

## (2) BIEコスモス賞

協会の存在及びコスモス賞の国際的なPRのため、平成19年度よりBIE(博覧会国際事務局(本部パリ))と開催国の万博協会が行う「BIEコスモス賞」に参画している。BIEコスモス賞については、平成28年度はカザフスタンのアスタナ万博での実施に向けて、カザフスタン・アスタナ市内において出展者会議に合わせて平成29年2月22日に調印式を行った。

## (3) 全国花のまちづくりコンクール事業

花の万博を契機に「花と緑の国づくり・まちづくり」をめざして農林水産省及び国土交通省が提唱する花のまちづくりコンクールの推進協議会に参画し、第26回(2016年)花のまちづくりコンクールを実施した。

応募数：1,868件

入賞：農林水産大臣賞及び国土交通大臣賞 各2点をはじめ26点

表彰式：開催日 平成28年10月28日(水)

場 所 東海大学校友会館(東京都千代田区)

## 2. 助成・協働事業

### (1) 調査研究、行催事等助成事業

花の万博の理念の継承、発展又は普及啓発に資する調査研究、技術開発、活動、行催事等を支援する助成事業を次のとおり実施した。

ア. 平成28年度は、平成27年度に決定した35団体(詳細は別表2のとおり)に対し助成を行うと共に、平成29年度の助成公募等を行った。

イ. 助成事業審査委員会を設け、応募のあった助成対象団体の審査を行った。

(ア) 公募及び審査

公募期間：平成 28 年 8 月 1 日（月）～9 月 16 日（金）

応募数：72 件

審査期間：平成 28 年 10 月～平成 29 年 1 月

(イ) 助成対象団体の決定

助成事業審査委員会の結果は理事長に答申され、平成 29 年 3 月 14 日（火）開催の第 92 回理事会において平成 29 年度の助成対象 35 件を決定した。

(別表 2)

	助成団体名	事業名
調査研究開発	富士山自然誌研究会	富士山の保護上重要な野生植物の生態と分布調査
	奈良自然環境研究会	大台ヶ原におけるヒノキ自然林の生態学的特性の解明
	亀岡みらいパス	亀岡ツバメ調査 2016
	NPO法人生物多様性研究所あ〜すわ〜む	草原環境の保全のための野生動植物のモニタリング調査
	NPO法人サンクチュアリエヌピーオー	絶滅状態にある海浜植物の保護増殖と砂浜回復活動
	NPO法人社叢学会	東日本大震災被災後5年目の東北地方社叢調査
活動・行催事	NPO法人グラウンドワーク三島	境川・清住緑地 大湧水公園エコロジーアップ事業
	日本土壌動物学会	第 17 回国際土壌動物学会
	公益社団法人日本造園学会	日中韓国際ランドスケープ専門家会議国際シンポジウム
	春江大好きプロジェクト	小児科となりのセラピーガーデン
	NPO法人利尻ふる里・島づくりセンター	海藻押し葉展覧会in札幌
	NPO法人オープンガーデンサンフラワー宮崎	花・緑と音楽で結ぶ日韓国際交流
	NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター	元学校林を中心としたこども森遊び活動と森の整備事業
	かめおか里道里山探検倶楽部	かめおか里山里道のトレイルの活用―植物回廊図鑑―
	伊吹くらしのやくそう倶楽部	伊吹の薬草復活プロジェクト
	公益財団法人福島県都市公園・緑化協会	きのこを通して福島の森を学ぶ親と子の環境学習事業
	四万十川自然再生協議会	四万十川流域に自生する希少植物・飛来するツルの保護
	久保川イーハートープ自然再生協議会	ビオトープ造成地への植栽事業
	NPO法人吉里吉里国	自然の恵みを体感する森林教室
	希望の開拓菊サロン	百花の王、日本のキク作り、理論と技術を身につける
	NPO法人居宅支援システム実践	リハビリテーションの花園づくり
	NPO法人白神自然学校一ツ森校	白神山地に地球温暖化防止の為に木を植えるプログラム
	NPO法人花と緑あふれる日本のまちづくり協会	住民自ら参画する協働のまちづくり
	NPO法人つくばアーバンガーデニング	日本さくらそう見学会
	沖縄椿協会	首里城公園に椿を植樹する取り組み

かのご里山村	かのご里山村・竹活プロジェクト
一般社団法人エコロジー・カフェ	昆虫調査隊
滋賀県立琵琶湖博物館はしかけグループびわたん	公園を学びの場とした学習プログラム開発と実施
公益財団法人金沢子ども科学財団	里山の自然を学ぼう～角間の里山自然体験
NPO法人フラワー・サイコロジー協会	花やいけばなを活用した介護予防、心のケア、地域交流
狭山池さくら満開委員会	市民による「蝶が舞う花と緑のまちづくり」事業
NPO法人モスグリーンEco	琵琶湖のヨシと、コケを使った子供 環境保全体験学習
NPO法人樹木研究会こうべ	岡本南(桜守)公園のサクラの保全対策立案
公益財団法人鹿児島県地域振興公社	花・緑のまち事業
生駒高山ラインガルテン村	休耕地の活用・再生を目指す混植農法研究活動

#### ウ. 助成事業成果発表会等の開催

過年度の助成団体が、その事業内容や成果を報告する発表会を行った。併せて、プラントハンター・そら植物園代表の西島清順氏により、「ひとの心に植物を植える～そら植物園の活動について～」と題する講演会を行った。発表終了後、団体と参加者による交流会を開催した。

日 時：平成 28 年 12 月 14 日（水）午後 1 時～6 時 30 分

場 所：サンスクエア堺（大阪府堺市）

報 告：6 団体（別表 3 のとおり）

参加者：約 200 名

共 催：公益財団法人堺市公園協会

協 力：堺千年の森クラブ

後 援：農林水産省、国土交通省、大阪府、堺市、（公財）助成財団センター、（公財）日本花の会、（一財）日本花普及センター、（公財）都市緑化機構、（公社）日本植物園協会、（一社）日本公園緑地協会

（別表 3）

団体名	所在地	発表内容
日本シダの会	千葉県	日本産シダ植物分布状況変遷のモニタリング調査
NPO 法人生物多様性研究所あ～すわ～む	長野県	金華山島のニホンジカの出生・生残のモニタリング
モンゴル森林再生促進研究会	滋賀県	「倒木遮蔽更新」仮設を応用した再生促進技術の開発
石橋記念公園子どもガイドの会	鹿児島	子どもガイドたちによる花緑豊かな公園づくり
メリーポピンズの会	兵庫県	「ボランティアがボランティアを育てる」園芸塾の運営
堺千年の森クラブ	大阪府	市民による市街地公園での「平成の森」づくり



## (2) 花とみどりの復興活動支援助成事業

阪急電鉄株式会社からの寄附を受け、東日本大震災の被災6県（青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉）の、花とみどりによる復興活動を行う団体へ助成支援を行った。

### ア. 公募及び審査

公募期間：平成28年3月1日（火）～平成28年4月30日（土）

審査期間：平成28年6月

### イ. 活動団体の決定

復興活動支援助成事業審査会を設け、申請団体23件の中から支援団体13件を決定した。（別表4のとおり）

（別表4）

団体名	所在地	事業名
都路町第7行政区	福島県	未来へつなぐ「さくらプロジェクト」
NPO 法人スマイルシード	宮城県	【野外環境コミュニティ体験】～美化活動～
特定非営利活動法人海への森をつくろう会	宮城県	希望の花プロジェクト
ローズマリーの会	岩手県	花壇整備及びローズマリー祭りの開催
NPO 法人サンガ岩手	岩手県	復興の花壇に集おうプロジェクトⅡ
スマイルいわて	岩手県	スマイルとうほくプロジェクト
水戸桜川千本桜プロジェクト	茨城県	水戸桜川千本桜プロジェクト
西会津富士の郷	福島県	愛宕山に桜を植栽する事業
逢瀬さくらの里	福島県	花花花！桜の里の菜の花・コスモス大作戦
NPO 法人越喜来の景観形成と住民交流を図る会	岩手県	花による浸水地の景観形成と住民交流事業
白坂地区町内連合会	福島県	「白坂泉岡広場」整備事業
災害対策ボランティアネットワーク	千葉県	被災地障がい者施設 花、果樹苗プロジェクト
日本ハンギングバスケット協会 福島支部	福島県	花育活動（寄せ植え製作や花の名前、育て方を指導）

### ウ. 花とみどりの復興活動支援助成事業成果発表会

平成23年から実施している「花とみどりの復興活動支援助成事業」の支援団体が60余に及ぶことから、活動成果の情報の共有と団体間のつながりを促進するため、成果発表会等を開催しました。

日 時：平成 29 年 3 月 17 日（金）正午～午後 6 時 45 分

場 所：コラッセふくしま（福島市三河南町）

参加団体：20 団体

参加者：約 100 名

共 催：公益財団法人福島県都市公園・緑化協会

後 援：農林水産省、国土交通省、復興庁、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、(公社)日本家庭園芸普及協会、(公財)都市緑化機構、(公財)日本花の会、(一社)日本植木協会、(一社)日本公園緑地協会、(一社)日本造園建設業協会、福島民報社、福島民友新聞社

### (3) 地域協働事業

地方公共団体・企業・ボランティア・住民等と協働し、緑化や花飾り等の事業を次のとおり実施した。

#### ア. 歴史の道 みどりの拠点づくり事業

歴史のある旧街道などの道沿いに、地元住民団体や地方自治体と協働し、緑あふれる空間を創造することにより、魅力的な憩いの場を提供する本事業について、実施団体へのヒヤリングを行うなど、事業の検証を行った。

#### イ. 子どもたちと育てる花とみどりによるコミュニティづくり事業

小中学校において、子どもたちが地域団体等と共に花を育て、育てた花を地域に配ることにより、人々の結びつきや地域の結束を高め、地域コミュニティの向上、都市緑化の推進を図ることを目的とした本事業を実施した。（別表 6 のとおり）

(別表 6)

実施団体	所在地
木津川市立棚倉小学校	京都府木津川市
亀岡市立東別院小学校	京都府亀岡市
京都市立朱雀第四小学校	京都府中京区
大阪市立酉島小学校	大阪市此花区
飛鳥中学校区運営協議会	奈良県奈良市
堺市立宮山台小学校	堺市南区
大阪市立小路小学校	大阪市生野区

泉大津市立条東小学校	泉大津市
登美ヶ丘中学校区地域教育協議会	奈良県奈良市
大阪市立すみれ小学校	大阪市城東区
神戸市立鈴蘭台中学校	神戸市北区

#### ウ. みどりの交流広場

関西を中心に、自然やみどり、人の暮らしに関わる活動をしている市民、企業、団体等の発表と団体相互の交流の場を設けることにより、情報の共有や協働のネットワークを促進させ、共生の輪を広げることを目的とした「みどりの交流広場」を開催した。

5回目の今回は「森林保全・植栽管理に関する活動」、「公園、地域での活動」、「生業・伝統文化に関する活動」の3つに分類し20団体が発表した。

日 時：平成29年2月25日（土）正午～午後5時30分

場 所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

参加団体：20団体

参加者：約120名

後 援：大阪府、大阪市、兵庫県、神戸市、京都府、京都市、奈良県、奈良市

### 3. 普及啓発事業及び国際交流事業

#### (1) 次世代育成事業

花の万博の理念の継承発展のため、協会に関係する学者、知識人等を講師に招き、児童を対象に平成6年度から開催しているもので、平成28年度は、屋外での自然観察教室（フィールド型セミナー）、小学校講師派遣（講師派遣型セミナー）を実施した。

また、次世代育成とマスコミとの連携強化のため、毎日新聞大阪本社との共催による小・中学校生態園づくりを実施した。

さらに、幼稚園児等を対象とした新しい自然教室「昆虫クエスト大作戦」を実施した。

#### ア. 自然観察教室「コスモスセミナー 集まれ！生き物好きな子供たち」

開催日：平成28年8月8日（土）～10日（月）

場 所：兵庫県立奥猪名健康の郷（兵庫県川辺郡猪名川町）

講 師：三橋 弘宗（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

山内 健生（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

参加者：近畿圏の小学校4～6年生及び中学校1年生26名

イ. 小学校講師派遣（講師派遣型セミナー）

小学校への出張授業 12 件実施した。（別表 7 のとおり）

（別表 7）

日時	学校名・参加者	テーマ	講師
平成 28 年 6 月 10 日(金) 10:45～11:30	豊中市立豊島北小学校 (大阪府豊中市) 3 年生 95 名	動物の命について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 28 年 6 月 15 日(水) 13:40～14:40	大阪市立古市小学校 (大阪市旭区) 3 年生 69 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 28 年 6 月 24 日(金) 11:30～12:15	豊中市立庄内南小学校 (大阪府豊中市) 3 年生 37 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 28 年 6 月 29 日(水) 11:40～12:25	八尾市立西山本小学校 (大阪府八尾市) 5 年生 38 名	環境・森林について	中村 彰宏 (大阪府立大学大学院准教授)
平成 28 年 6 月 30 日(木) 14:45～15:30	摂津市立鳥飼北小学校 (大阪府摂津市) 6 年生 81 名	植物の働きや光合成 の仕組みについて	渋谷 俊夫 (大阪府立大学大学院准教授)
平成 28 年 7 月 4 日(月) 10:50～11:35	豊能町立東能勢小学校 (大阪府豊能郡) 5 年生 38 名	動物の命について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 28 年 7 月 5 日(火) 13:40～14:25	泉南市立雄信小学校 (大阪府泉南市) 3 年生 38 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 28 年 9 月 23 日(金) 10:50～11:35	堺市立茶山台小学校 (堺市南区) 3 年生 33 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 28 年 9 月 28 日(水) 10:45～11:30	堺市立津久野小学校 (堺市西区) 3 年生 92 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 28 年 12 月 12 日(月) 10:45～11:30	堺市立土師小学校 (堺市中区) 4 年生 90 名	動物の命について	長瀬 健二郎 (元天王寺動物園園長)
平成 29 年 1 月 25 日(水) 10:40～11:25	大阪市立東淀路小学校 (大阪市東淀川区) 4 年生 43 名	昆虫について	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)
平成 29 年 2 月 24 日(金) 10:40～11:25	枚方市立菅原東小学校 (大阪府枚方市) 3 年生 111 名	環境と命のつながり	谷 幸三 (（一社）淡水生物研究所理事)

#### ウ. 小・中学校における生態園づくり

毎日新聞社と共催し、生態園（ビオトープ）を4校に設置した。また、前年に設置した小・中学校においては、生物の観察の様子や記録を毎日新聞紙面や毎日新聞ホームページで紹介した。（別表8のとおり）

（別表8）

実施校	所在地	実施内容
香芝市立志都美小学校	奈良県香芝市	命の繋がりを学ぶ生態園
大阪市立矢田西小学校	大阪府大阪市	私たちのふるさと大和川
橋本市立三石小学校	和歌山県橋本市	自然とふれあう憩いのエリア
東大阪市立桜橋小学校	大阪府東大阪市	人と生物による生物多様性

#### エ. 鶴見緑地昆虫クエスト大作戦

幼稚園・保育園児とその保護者を対象とした「鶴見緑地昆虫クエスト大作戦」を実施し、自然と触れあう楽しさを親子で体験できる機会を提供した。

開催日：平成28年9月22日（木・祝）

場所：花博記念公園鶴見緑地

講師：八木 剛（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

参加者：鶴見区（大阪市）の幼稚園児とその家族（130名）

#### （2）花育推進事業

花や緑による情操教育を目的とした花育活動を推進する全国花育推進協議会に参画し、関係団体とともに講習会やセミナー等を実施した。

#### （3）都市緑化推進運動等への協力事業

「春の都市緑化推進運動期間（4～6月）」および「都市緑化月間（10月）」における「都市緑化キャンペーン活動」等を支援するため、都市緑化推進運動協力会に協力するとともに、協会事業の紹介パネル等を展示した。

#### （4）普及啓発事業

花の万博が開催された地元大阪において、理念の継承発展・普及啓発に関する事業を地元公共団体及び関連団体と協働し実施した。

#### ア. 大阪都市緑化フェア

花と緑あふれる豊かなまちづくりを進め、都市緑化に関する府民意識の高揚と知識の普及を図ることを目的に開催されている本フェアに参画し、支援し、会場内の出展

ブースに協会の事業紹介パネルの展示等を行った。

開催日：平成 28 年 10 月 22 日（土）～23 日（日）

場 所：万博記念公園お祭り広場（大阪府吹田市）

来場者：約 26,000 名

主 催：当協会、大阪府、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

#### イ. はならんまん

大阪市民の花や緑のまちづくりへの関心を高め、花と緑を育てる伝統や文化への理解を促すとともに、花緑関連業界の交流と活性化を目的に開催された本事業に参画、支援し、会場内の出展ブースに協会の事業紹介パネルの展示及び（一社）フラワースサイエティと共同で熊本地震の復興募金を実施した。

開催日：平成 28 年 10 月 15 日（土）～16 日（日）

場 所：花博記念公園鶴見緑地（大阪市鶴見区）

来場者：約 40,000 名

主 催：当協会、大阪市

#### ウ. みどりのまちづくり賞（大阪ランドスケープ賞）

緑によるまちづくりや、市民の花やみどりに関する知識、技術力の向上を図ることを目的とした第 6 回みどりのまちづくり賞に参画し、花博記念協会会長賞等を授与した。

開催日：平成 28 年 11 月 23 日（月・祝）

場 所：花博記念ホール（大阪市鶴見区）

来場者：約 100 名

主 催：当協会、大阪府、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

#### エ. 公園利用促進広報事業（情報誌オアフの発行）

大阪府下の公園、緑地の利用の促進等のため、公園情報や当協会事業情報を掲載した情報誌「オアフ」第 9 号、第 10 号（各 3 万 5 千部、計 7 万部）を大阪府、大阪市と協働して作成、配布するとともに、バックナンバーも含めて常時閲覧できるよう「電子版」を作成し、協会ホームページに掲載した。

#### オ. その他

##### （ア）広報・報道活動

- ・コスモス国際賞の新受賞者情報を掲載したパンフレットを作成し、授賞式等で配付したほか、2016 年（第 24 回）受賞者の業績、コスモス賞の趣意、授賞式及び記念講演等を取りまとめた報告書（変形 A4 判 84 頁）を作成（1500 部）し、

国内外の関係者に配付した。また、2015年の受賞者、ロックストローム博士の業績や活動内容を、写真や図を配しながら気軽に読める冊子を刊行(3,000部)した。

- ・各事業の周知のため、各種チラシ、パンフレット、報告書等を作成し、配布した他、事業毎に東京・大阪の記者クラブに資料を提供し、マスコミキャラバンを実施した。
- ・各事業の理解促進・普及のために協会ホームページを適宜更新するとともに、ソーシャルネットワーク (Facebook) でも事業紹介を行った。

(イ) 情報等の提供、その他普及啓発

- ・理念の理解と促進を図ると共に、協会の蓄積情報を発信する情報誌(変形A5判24頁)を刊行(1,000部)した。
- ・今後開催が予定されている博覧会や各種イベント等の主催者に対し、博覧会や協会事業情報、写真等の提供を行った。

海外・国・地方自治体-2件、企業・個人-6件

- ・各種行催事等に協賛・後援・会長賞の交付を行った。(詳細別表9のとおり)

(別表9)

催事名(開催時期)	開催場所	主催	名義
第13回2016周防町通り「はなまつり」 (H28.5.1~5.31)	周防町通り(堺筋~御堂筋間)と大阪市立南小学校(大阪府中央区)	ヨーロッパ村周防町通り商店会	後援
第3回公益社団法人日本フラワーデザイナー協会花検定(H28.9.4)	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	後援
大阪ばら祭2016 (H28.5.13~5.15)	花博記念公園鶴見緑地内 咲くやこの花館(大阪府鶴見区)	関西ばら会・咲くやこの花館運営グループ	後援 会長賞
水都おおさか森林の市2016 (H28.10.2)	近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園周辺(大阪府北区)	水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会	後援
清流の国ぎふ花かざりコンテスト (H28.8.29~11.12)	岐阜県全域	岐阜県	後援 会長賞
「木を植える国」の知恵と経験 鎮守の森に学ぶ(H28.10.6)	大阪府中央公会堂(大阪府北区)	一般社団法人大阪府木材連合会	後援
日本造園学会関西支部設立50周年記念大会(H28.10.15~10.16)	京都大学「益川ホール」(京都市左京区)	日本造園学会関西支部	協賛
花博記念協会設立25周年記念ハンギング バスケットギャラリー	服部緑地「都市緑化植物園」(大阪府豊中市)	一般社団法人大阪府公園協会	協賛

第 20 回咲くやフォトコンテスト (H28.12.1～H29.2.26)	花博記念公園鶴見緑地 内 咲くやこの花館 及 び鶴見区民センター (大阪市鶴見区)	一般財団法人大阪スポーツ みどり財団 咲くやこの花館	協賛 会長賞
平成 28 年度「都市緑化月間」 (28.10.1～10.31)	全国	国土交通省、都道府県、市 町村	協賛
ぎふフラワーフェスティバル2016in 花フェスタ (H28.11.11～11.13)	花フェスタ記念公園 (岐阜県可児市)	清流の国ぎふ花き戦略会議	後援
第 71 回日本おもと名品展 (H28.11.26～11.27)	潮来ホテル (茨城県潮来市)	公益社団法人日本おもと協 会	後援 会長賞
2017 日本フラワー&ガーデンショウ (H29.4.1～4.3)	パシフィコ横浜展示ホー ル C・D (神奈川県横浜市)	公益社団法人日本家庭園 芸普及協会	協賛
平成 28 年度大阪府花の文化園幼児・小中 学生花の絵画展 (H29.1.5～2.5)	大阪府立花の文化園 イベントホール (大阪府河内長野市)	大阪府、住友林業緑化・E- DESIGN 共同企業体	後援 会長賞
小品盆栽フェア第 25 回春雅展 (H29.3.24～3.26)	花博記念公園鶴見緑地 内 ハナミズキホール (大阪市鶴見区)	公益社団法人全日本小品 盆栽協会	後援 会長賞
第 19 回「国際バラとガーデニングショウ」 (H29.5.12～5.17)	西武プリンスドーム (埼玉県所沢市)	国際バラとガーデニングショ ウ組織委員会	後援
いけばなインターナショナル大阪支部第 26 回フェスティバル (H29.5.28)	大阪国際交流センター (大阪市天王寺区)	いけばなインターナショナル 大阪支部	後援
大阪ばら祭 2017 (H29.5.12～5.14)	花博記念公園鶴見緑地 内 咲くやこの花館 (大阪市鶴見区)	関西ばら会・鶴見緑地スマ イル 5	後援 会長賞

## (5) 国際交流事業

### ア. 国際園芸博出展協力

トルコ共和国アンタルヤ県で開催された「2016 年アンタルヤ国際園芸博覧会」(会期：平成 28 年 4 月 23 日～10 月 30 日)への日本政府出展屋内展示に協力した。

### イ. 高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾

日本の高校生を台湾に派遣し、専門家の指導のもと、現地の高校生と合同で生き物の観察、調査を体験させる事業を実施した。更にその成果を兵庫県立人と自然の博物館の「共生のひろば(平成 29 年 2 月 11 日)」において高校生自らが発表する機会を設けた。

開催日：平成 28 年 7 月 24 日(日)～平成 28 年 7 月 30 日(土)

場 所：台湾：台北市立動物園および東眼山自然教育センター



講師：太田 英利（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）  
秋山 弘之（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）  
高野 温子（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）  
山内 健生（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）  
ほか台北市立動物園研究者 4名

参加者：日本人高校生 20名、台湾人高校生 18名

#### 4. 調査研究・資料収集事業

##### (1) 生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行うとともに専門家の意見を踏まえて、小冊子「日本固有植物に学ぶ自然のしくみと共生の知恵」を編集・発行した。

##### (2) 里山等の共生に関する調査

平成 25 年度の東日本大震災被災地を対象とした地域特有の里地、里山、里海に関わる文化に関する文献調査、事例調査の成果、平成 26 年度の大坂湾周辺地域＝兵庫県南あわじ市、和歌山県田辺市＝における里、山、海の連携に関する資料収集・調査の成果などを踏まえて、「第 1 回アジア生物文化多様性国際会議」に参加し発表した。

環境省と国連大学が提唱した持続可能な社会生態学的生産ランドスケープ・シースケープ (SEPLS) の価値を世界で広く認識してもらうことによって、その保全と再生を促進する取り組みである SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) に参画し、協会の情報発信に努めた。

平成 28 年度

## Ⅱ. 庶務・管理

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

## II. 庶務・管理

### 1. 理事会、評議員会等

#### (1) 第 89 回理事会 平成 28 年 6 月 8 日 (水)

開催場所：日本工業倶楽部会館（東京都千代田区）

決議事項：平成 27 年度事業報告及び収支決算について

定時評議員会の招集について

評議員会に提出する評議員候補者名簿（案）について

出席等：決議に必要な出席理事の数 5 名、出席 8 名、欠席 0 名、監事出席 2 名

#### (2) 第 90 回理事会 平成 28 年 7 月 20 日 (水)

開催場所：日本工業倶楽部会館（東京都千代田区）

決議事項：2016 年（第 24 回）コスモス国際賞受賞者の決定について

特定資産の取崩しについて

決議の省略の方法による評議員会の招集について

出席等：決議に必要な出席理事の数 8 名、出席 7 名、欠席 1 名、監事出席 1 名

#### (3) 第 91 回理事会 平成 28 年 12 月 20 日 (水)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取崩しについて

決議の省略の方法による評議員会の招集について

出席等：提案書に対し、理事 8 名全員の書面による同意、また、監事 2 名から書面により

異議がない旨の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

#### (4) 第 92 回理事会 平成 29 年 3 月 14 日 (火)

開催場所：経団連会館（東京都千代田区）

決議事項：倫理規程の制定について

コンプライアンス規程の制定について

ハラスメント防止規程の制定について

助成事業実施規程の改正について

特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程の制定について

特定費用準備資金の新規保有について

平成 29 年度資産運用方針書について

平成 29 年度事業計画及び収支予算について

特定資産について

平成 29 年度助成団体の決定について

顧問、参与の選任について

コスモス国際賞委員会委員の選任について

出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席1名、監事出席1名

(5) 第47回評議員会 平成28年6月27日(月)

開催場所：関西文化サロン(大阪市北区)

決議事項：平成27年度事業報告及び収支決算書類の承認について  
評議員の選任について

出席等：決議に必要な出席評議員の数7名、出席7名、欠席5名、監事出席1名、理事出席2名

(6) 第48回評議員会 平成28年8月24日(水)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取崩しについて

出席等：提案書に対し、評議員13名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、  
評議員会の決議があったものとみなされた。

(7) 第49回評議員会 平成29年1月25日(水)

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：特定資産の取崩しについて

出席等：提案書に対し、評議員13名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、  
評議員会の決議があったものとみなされた。

## 2. 内閣府届出及び情報公開

平成28年6月に開催した理事会、評議員会における平成27年度事業報告及び収支決算、平成29年3月に開催した理事会における平成29年度事業計画及び収支予算について、それぞれ、内閣府に届出を行った。

また、定款、名簿、財務諸表等を協会事務所に据え置いたほか、協会ホームページにも掲載し、情報公開に努めた。

## 3. その他

第3者委員会として資産運用管理委員会を引き続き開催し、資産運用の業務状況を調査・確認し、代表理事に対して報告を行った。

協会組織は、代表理事2名、業務執行理事1名の体制のもと、2部3課制11名とした。

平成 28 年度

### Ⅲ. 財 務 諸 表

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

# 貸借対照表

平成29年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	138,426,839	170,278,721	△31,851,882
未収収益	70,176,195	71,060,199	△884,004
前払金	16,848	0	16,848
流動資産合計	208,619,882	241,338,920	△32,719,038
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	460,000,000	860,000,000	△400,000,000
基本財産定期預金	400,344,700	344,700	400,000,000
基本財産投資有価証券	29,655,300	29,655,300	0
基本財産合計	890,000,000	890,000,000	0
(2) 特定資産			
記念基金	9,808,831,257	9,777,611,888	31,219,369
退職給付引当資産	39,019,900	50,719,600	△11,699,700
特定資産合計	9,847,851,157	9,828,331,488	19,519,669
(3) その他固定資産			
投資有価証券	9,592,642	13,208,268	△3,615,626
什器備品	8	8	0
その他固定資産合計	9,592,650	13,208,276	△3,615,626
固定資産合計	10,747,443,807	10,731,539,764	15,904,043
資産合計	10,956,063,689	10,972,878,684	△16,814,995
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	22,500,302	32,743,767	△10,243,465
預り金	631,747	814,460	△182,713
賞与引当金	2,469,125	2,541,886	△72,761
流動負債合計	25,601,174	36,100,113	△10,498,939
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,019,900	50,719,600	△11,699,700
固定負債合計	39,019,900	50,719,600	△11,699,700
負債合計	64,621,074	86,819,713	△22,198,639
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
基本財産運用益	90,000,000	90,000,000	0
特定資産運用益	731,610,000	731,610,000	0
特定資産評価差額金等	△122,778,743	△153,998,112	31,219,369
指定正味財産合計	10,698,831,257	10,667,611,888	31,219,369
(うち基本財産への充当額)	(890,000,000)	(890,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,808,831,257)	(9,777,611,888)	(31,219,369)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 一般正味財産	192,611,358	218,447,083	△25,835,725
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	10,891,442,615	10,886,058,971	5,383,644
負債及び正味財産合計	10,956,063,689	10,972,878,684	△16,814,995

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	923,164	14,098,932	△13,175,768
基本財産受取利息	923,164	14,098,932	△13,175,768
特定資産運用益	234,431,141	251,980,812	△17,549,671
記念基金受取利息	234,008,982	226,169,812	7,839,170
特定資産受取利息	22,159	0	22,159
記念基金売却益	0	21,043,000	△21,043,000
記念基金償還益	400,000	4,768,000	△4,368,000
受取寄付金	3,000,000	4,000,000	△1,000,000
受取寄付金	3,000,000	4,000,000	△1,000,000
雑収益	455,800	852,674	△396,874
受取利息	0	5	△5
雑収益	455,800	852,669	△396,869
経常収益計	238,810,105	270,932,418	△32,122,313
(2) 経常費用			
事業費	195,733,097	205,753,681	△10,020,584
役員報酬	8,295,000	8,337,000	△42,000
給与手当	38,480,294	40,653,672	△2,173,378
法定福利費	6,672,526	7,006,085	△333,559
退職給付費用	1,428,253	1,644,683	△216,430
賃金	1,941,122	1,895,425	45,697
職員厚生費	407,986	696,657	△288,671
会議費	1,717,668	1,645,106	72,562
旅費交通費	5,926,075	6,513,678	△587,603
通信運搬費	2,481,830	2,508,119	△26,289
広告費	956,640	932,191	24,449
消耗什器備品費	87,607	1,816,546	△1,728,939
消耗品費	2,484,335	1,748,249	736,086
印刷製本費	5,152,665	2,920,776	2,231,889
光熱水料費	2,426,101	2,767,486	△341,385
修繕費	283,500	0	283,500
役務費	0	38,071	△38,071
委託費	28,068,565	17,324,109	10,744,456
貸借料	4,687,805	4,982,139	△294,334
使用料	2,637,267	2,372,029	265,238
保険料	202,972	202,972	0
諸謝金	5,770,346	5,576,757	193,589
租税公課	21,141	14,434	6,707
支払負担金・会費	19,298,438	35,481,387	△16,182,949



(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払助成金	15,667,800	15,278,760	389,040
支払手数料	514,697	582,972	△68,275
顕彰賞金	40,000,000	42,693,400	△2,693,400
雑費	122,464	120,978	1,486
管理費	68,912,733	70,428,445	△1,515,712
役員報酬	3,555,000	3,573,000	△18,000
給与手当	29,849,588	34,625,048	△4,775,460
法定福利費	5,738,035	6,778,089	△1,040,054
退職給付費用	1,125,847	1,428,917	△303,070
賃金	831,909	812,325	19,584
職員厚生費	321,603	605,262	△283,659
会議費	736,145	705,045	31,100
旅費交通費	2,539,747	2,791,577	△251,830
通信運搬費	1,063,639	1,074,908	△11,269
広告費	409,989	399,511	10,478
消耗什器備品費	37,546	778,520	△740,974
消耗品費	1,064,714	749,250	315,464
印刷製本費	2,208,285	1,251,762	956,523
光熱水料費	1,039,757	1,186,065	△146,308
修繕費	121,500	0	121,500
役務費	0	16,315	△16,315
委託費	12,029,386	7,424,618	4,604,768
賃借料	2,009,060	2,135,203	△126,143
使用料	1,130,258	1,016,584	113,674
保険料	86,988	86,988	0
諸謝金	2,473,006	2,390,039	82,967
租税公課	9,061	6,186	2,875
支払負担金・会費	258,600	291,540	△32,940
支払手数料	220,585	249,845	△29,260
雑費	52,485	51,848	637
經常費用計	264,645,830	276,182,126	△11,536,296
当期經常増減額	△25,835,725	△5,249,708	△20,586,017
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△25,835,725	△5,249,708	△20,586,017
一般正味財産期首残高	218,447,083	223,696,791	△5,249,708
一般正味財産期末残高	192,611,358	218,447,083	△25,835,725
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	4,000,000	△1,000,000
受取寄付金	3,000,000	4,000,000	△1,000,000

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
基本財産運用益	923,164	14,098,932	△13,175,768
基本財産受取利息	923,164	14,098,932	△13,175,768
特定資産運用益	238,895,708	660,032,857	△421,137,149
記念基金受取利息	237,624,608	229,819,857	7,804,751
記念基金投資有価証券売却益	0	21,043,000	△21,043,000
記念基金投資有価証券償還益	1,271,100	409,170,000	△407,898,900
特定資産評価益	30,348,269	0	30,348,269
記念基金投資有価証券評価益	30,348,269	0	30,348,269
特定資産評価損	0	△354,252,350	354,252,350
記念基金投資有価証券評価損	0	△354,252,350	354,252,350
一般正味財産への振替	△241,947,772	△273,729,789	31,782,017
一般正味財産への振替	△241,947,772	△273,729,789	31,782,017
当期指定正味財産増減額	31,219,369	50,149,650	△18,930,281
指定正味財産期首残高	10,667,611,888	10,617,462,238	50,149,650
指定正味財産期末残高	10,698,831,257	10,667,611,888	31,219,369
III 正味財産期末残高	10,891,442,615	10,886,058,971	5,383,644

# 正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	276,947	646,217	923,164
基本財産受取利息	276,947	646,217	923,164
特定資産運用益	164,101,800	70,329,341	234,431,141
記念基金受取利息	163,806,289	70,202,693	234,008,982
特定資産受取利息	15,511	6,648	22,159
記念基金償還益	280,000	120,000	400,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
雑収益	55,800	400,000	455,800
雑収益	55,800	400,000	455,800
経常収益計	167,434,547	71,375,558	238,810,105
(2) 経常費用			
事業費	195,733,097	0	195,733,097
役員報酬	8,295,000	0	8,295,000
給与手当	38,480,294	0	38,480,294
法定福利費	6,672,526	0	6,672,526
退職給付費用	1,428,253	0	1,428,253
賃金	1,941,122	0	1,941,122
職員厚生費	407,986	0	407,986
会議費	1,717,668	0	1,717,668
旅費交通費	5,926,075	0	5,926,075
通信運搬費	2,481,830	0	2,481,830
広告費	956,640	0	956,640
消耗什器備品費	87,607	0	87,607
消耗品費	2,484,335	0	2,484,335
印刷製本費	5,152,665	0	5,152,665
光熱水料費	2,426,101	0	2,426,101
修繕費	283,500	0	283,500
委託費	28,068,565	0	28,068,565
賃借料	4,687,805	0	4,687,805
使用料	2,637,267	0	2,637,267
保険料	202,972	0	202,972
諸謝金	5,770,346	0	5,770,346
租税公課	21,141	0	21,141
支払負担金・会費	19,298,438	0	19,298,438
支払助成金	15,667,800	0	15,667,800
支払手数料	514,697	0	514,697
顕彰賞金	40,000,000	0	40,000,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
雑費	122,464	0	122,464
管理費	0	68,912,733	68,912,733
役員報酬	0	3,555,000	3,555,000
給与手当	0	29,849,588	29,849,588
法定福利費	0	5,738,035	5,738,035
退職給付費用	0	1,125,847	1,125,847
賃金	0	831,909	831,909
職員厚生費	0	321,603	321,603
会議費	0	736,145	736,145
旅費交通費	0	2,539,747	2,539,747
通信運搬費	0	1,063,639	1,063,639
広告費	0	409,989	409,989
消耗什器備品費	0	37,546	37,546
消耗品費	0	1,064,714	1,064,714
印刷製本費	0	2,208,285	2,208,285
光熱水料費	0	1,039,757	1,039,757
修繕費	0	121,500	121,500
委託費	0	12,029,386	12,029,386
賃借料	0	2,009,060	2,009,060
使用料	0	1,130,258	1,130,258
保険料	0	86,988	86,988
諸謝金	0	2,473,006	2,473,006
租税公課	0	9,061	9,061
支払負担金・会費	0	258,600	258,600
支払手数料	0	220,585	220,585
雑費	0	52,485	52,485
經常費用計	195,733,097	68,912,733	264,645,830
当期經常増減額	△28,298,550	2,462,825	△25,835,725
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△28,298,550	2,462,825	△25,835,725
一般正味財産期首残高	107,170,563	111,276,520	218,447,083
一般正味財産期末残高	78,872,013	113,739,345	192,611,358
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
受取寄付金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産運用益	276,947	646,217	923,164
基本財産受取利息	276,947	646,217	923,164
特定資産運用益	167,226,997	71,668,711	238,895,708
記念基金受取利息	166,337,227	71,287,381	237,624,608

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
記念基金投資有価証券償還益	889,770	381,330	1,271,100
特定資産評価益	21,243,788	9,104,481	30,348,269
記念基金投資有価証券評価益	21,243,788	9,104,481	30,348,269
一般正味財産への振替	△169,894,174	△72,053,598	△241,947,772
一般正味財産への振替	△169,894,174	△72,053,598	△241,947,772
当期指定正味財産増減額	21,853,558	9,365,811	31,219,369
指定正味財産期首残高	7,443,328,327	3,224,283,561	10,667,611,888
指定正味財産期末残高	7,465,181,885	3,233,649,372	10,698,831,257
Ⅲ 正味財産期末残高	7,544,053,898	3,347,388,717	10,891,442,615

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

②満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

時価あるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産

什器備品…定額法によっている。

### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、職員の退職手当支給規程に基づき、期末要支給額を計上している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

### (4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	860,000,000	0	400,000,000	460,000,000
定期預金	344,700	400,000,000	0	400,344,700
投資有価証券	29,655,300	0	0	29,655,300
小 計	890,000,000	400,000,000	400,000,000	890,000,000
特定資産				
記念基金	9,777,611,888	1,320,548,269	1,289,328,900	9,808,831,257
退職給付引当資産	50,719,600	2,554,100	14,253,800	39,019,900
小 計	9,828,331,488	1,323,102,369	1,303,582,700	9,847,851,157
合 計	10,718,331,488	1,723,102,369	1,703,582,700	10,737,851,157

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	460,000,000	(460,000,000)	( 0)	-
定期預金	400,344,700	(400,344,700)	( 0)	-
投資有価証券	29,655,300	(29,655,300)	( 0)	-
小 計	890,000,000	(890,000,000)	( 0)	( 0)
特定資産				
記念基金 (注)	9,808,831,257	(9,808,831,257)	( 0)	( 0)
退職給付引当資産	39,019,900	-	-	(39,019,900)
小 計	9,847,851,157	(9,808,831,257)	( 0)	(39,019,900)
合 計	10,737,851,157	(10,698,831,257)	( 0)	(39,019,900)

(注) 期限前解約時の清算金条項の付された定期預金が記念基金に500,000,000円含まれている。

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	品 名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	花博会場模型	10,036,290	10,036,289	1
	コスモス国際賞顕彰品レプリカ	2,200,000	2,199,999	1
	ラフレシア(花)標本	4,506,293	4,506,292	1
	DVDレコーダー	165,000	164,999	1
	液晶テレビ	593,620	593,619	1
	ノートパソコン	193,200	193,199	1
	デジタルビデオカメラ	106,500	106,499	1
	プロジェクター	147,000	146,999	1
合 計		17,947,903	17,947,895	8

## 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第328回利付国債	29,655,300	31,249,500	1,594,200
小 計	29,655,300	31,249,500	1,594,200
特定資産及びその他固定資産			
記念基金及び投資有価証券			
第3回日本電産社債	100,757,923	103,700,000	2,942,077
第8回パナソニック社債	101,963,192	103,830,000	1,866,808
第7回ニプロ社債	100,921,267	101,570,000	648,733
第20回みずほ銀行劣後債	102,240,727	106,100,000	3,859,273
第41回阪急阪神HD社債	103,709,533	108,060,000	4,350,467
小 計	509,592,642	523,260,000	13,667,358
合 計	539,247,942	554,509,500	15,261,558

## 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単価:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	923,164
記念基金受取利息	237,624,608
記念基金償還益	400,000
受取寄付金	3,000,000
合 計	241,947,772

## 7 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

金融商品の状況に関する事項

### 1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみであり、運用限度枠を設けている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。



## 2. 金融商品の内容及びそのリスク

記念基金に含まれる投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)が含まれており、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。なお、当該投資有価証券には、リスクが高いものとして、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが困難な流動性に乏しい債券(仕組債)4,350百万円が含まれている。

## 3. 金融商品のリスクに係る管理体制

### ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用管理規程及び資産運用基準に基づき行う。

### ②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3. に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,541,886	2,469,125	2,541,886	0	2,469,125
退職給付引当金	50,719,600	2,554,100	14,253,800	0	39,019,900

# 財産目録

平成29年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として 248,300	
		普通預金	りそな銀行大阪公務部 三菱東京UFJ銀行大阪公務部 三井住友銀行大阪公務部 みずほ銀行大阪支店 三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	運転資金として 25,347,338 10,270,216 44,279,979 54,589,458 3,691,539
	外貨預金	三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	公益目的事業資金として 9	
		現金預金合計		138,426,839
	未収収益	公益目的事業及び管理目的の財源として 使用する債券等の未収利息 70,176,195		
	前払金	リース物件前払い分 16,848		
	<b>流動資産合計</b>			<b>208,619,882</b>
	<b>(固定資産)</b>			
	基本財産	普通預金	三井住友銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 うち公益目的保有財産である 138,000,000 うち管理目的の財源として使用する財産である 322,000,000
				460,000,000
定期預金		りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 うち公益目的保有財産である 103,410 うち管理目的の財源として使用する財産である 241,290	
			344,700	
投資有価証券		三菱UFJ信託銀行大阪法人営業部	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 うち公益目的保有財産である 120,000,000 うち管理目的の財源として使用する財産である 280,000,000	
			400,000,000	
投資有価証券		第328回利付国債	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 うち公益目的保有財産である 8,896,590 うち管理目的の財源として使用する財産である 20,758,710	
			29,655,300	
基本財産合計			890,000,000	
特定資産		記念基金	9,808,831,257	
	投資有価証券	関西国際空港20年債他	運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 うち公益目的保有財産である。 5,809,851,080 うち管理目的の財源として使用する財産である。 2,489,936,177	
			8,299,787,257	
	第8回パナソニック社債他	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。 500,000,000		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定 資産	定期預金	三井住友銀行大阪公務部	うち公益目的保有財産である。	350,000,000
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	150,000,000
			運用益を公益目的の事業及び管理目的の財源として使用している。	500,000,000
			うち公益目的保有財産である。	350,000,000
	普通預金	みずほ銀行大阪支店	うち管理目的の財源として使用する財産である。	150,000,000
			運用益を公益目的の事業及び管理目的の財源として使用している。	309,044,000
			うち公益目的保有財産である。	216,330,800
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	92,713,200
	退職給付引当資産	りそな銀行大阪公務部	運用益を公益目的の事業及び管理目的の財源として使用している。	200,000,000
			うち公益目的保有財産である。	140,000,000
			うち管理目的の財源として使用する財産である。	60,000,000
			退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	39,019,900
	普通預金	りそな銀行大阪公務部	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	29,019,900
	信託受益権	三井住友銀行大阪公務部	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	10,000,000
			特定資産合計	9,847,851,157
投資有価証券	第8回パナソニック社債他 (オーバーパー部分)	公益目的の事業及び管理目的の財源として使用している。	9,592,642	
		うち公益目的保有財産である。	6,714,849	
		うち管理目的の財源として使用する財産である。	2,877,793	
什器備品	花博会場模型等	公益目的の事業及び管理目的の財源として使用している。	8	
固定資産合計				10,747,443,807
資産合計				10,956,063,689
(流動負債)				
	未払金	平成28年度助成事業対象者に対する未払額等	公益目的の事業及び管理目的の業務等未払い分	22,500,302
	預り金	役職員に対するもの	源泉徴収税等	631,747
	賞与引当金	職員に対するもの	公益目的の事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	2,469,125
流動負債合計				25,601,174
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員4名に対する退職金の支払いに備えたもの	39,019,900
固定負債合計				39,019,900
負債合計				64,621,074
正味財産				10,891,442,615

平成 28 年度

## IV. 監 査 報 告 書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

# 監査報告書


平成29年6月5日

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

会長 今井 敬 様


公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

堀井 良 殷 

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

監事

北山 諒 一 

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意志疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他必要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上